

調査季報

186号 特集：横浜の地域における子育て支援

を発行します。

令和2年度より、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を更に充実したものとするため「横浜市版子育て世代包括支援センター」が本格実施となり、また、生まれる前から青少年期までの総合的な支援を推進するための「第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画」がスタートしました。

これを機会に、市民団体等との「協働」を特徴としながら先駆的に積み重ねてきた、これまでの本市の「地域における子育て支援」の取組を振り返るとともに、現状の課題や今後の展望について考えていきます。

子育てを取り巻く環境は、少子化や世帯の就労状況、核家族化や地域のつながりの希薄化など、様々に変化してきました。意識的に「子育て支援」の仕組みを整えることが必要となったこの時代に、どのような支援が求められ、私たちはどう向き合っていけばよいのでしょうか。

有識者の方にご執筆いただいた記事や、座談会、インタビューを交えながら考えていきます。

○ 調査季報は、市民生活にとって重要な課題や自治体の政策について、市職員や専門家・市民が意見を発表、討論するための政策研究誌です。昭和38年から50年以上にわたり発行されています。

1冊 500円 (税込)
◎12月24日(木)から、市庁舎3階 市政刊行物・グッズ販売コーナーにて販売します。

また、各記事は市ホームページにも掲載しています。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/tyousakihou/>
バックナンバーは、市ホームページで全号をご覧いただけるほか、167号以降は市政刊行物・グッズ販売コーナーでご購入いただけます。



1. はじめに ～特集のねらい～
2. ”地域における子育て支援“に関する国の動向
3. 第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画の目指す方向性
4. ニーズ調査からみる本市の子育て家庭の状況について
5. 第2期計画にみる、地域における子育て支援の目指す姿
6. 地域における子育て支援～本市の施策の全体像
7. 座談会／地域子育て支援拠点の始まりとこれから
8. 地域における子育て支援の取組の過去・現在・未来
9. インタビュー／市民の力を活用した地域での子育て支援
10. 座談会／区における子育て支援の取組の今
11. こんにちは赤ちゃん訪問事業
12. インタビュー／子育て支援事業の立ち上げを振り返る
13. 子どもの貧困対策と子ども食堂
14. 横浜市版子育て世代包括支援センターとは
15. 「横浜市版子育て世代包括支援センター」を通じた南区の取組について
16. 地域における子育て支援のこれから
17. インタビュー／子育て支援に関するフィールドワークから
18. 現代版群れた子育てを実現するための「まち保育」からの視座
19. インタビュー／子育て支援で求められる視点

お問合せ先

政策局政策課データ活用推進等担当課長 小柳 八之 Tel 045-671-4087